

2019. 1. 15 第65号

くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1 あと会広報事業部
TEL (082) 856-0222
http://www.kunikusa.or.jp/



題字 升味 美佐子様

新年のご挨拶



医療法人社団・
社会福祉法人
あと会グループ

常務理事

横山 輝代子

これまでの歴史を次世代への貴重な財産として、引き続きあと会の理念「よきこび・やさしき・ゆたかさ」の実現に向けた努力をまいります。今後とも「くにくさ」が地域の皆様のお役に立てるよう、そして、ご愛顧いただけるように努めてまいります。本年も変わらぬお引き立て下さいますようお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願致します。昨年、おかげさまで医療法人を開設して40周年、そして特別養護老人ホームくにくさ苑を開設して25周年の区切りの年を迎えることができました。そして、この歴史を記念誌として発刊することができました。これもひとえに、地域の皆様をはじめ関係者の皆様のご支援・ご指導の賜物と感謝しております。



医療法人社団・
社会福祉法人
あと会グループ

理事長

横山 吉宏

新年明けましておめでとうございます。あつちグループの施設・事業所でも被害にあつた職員も多岐に、利用者へのサービスを支え合いながら継続して提供する事が出来た事は、大変誇らしく思うと共に心より感謝申し上げます。また一方で、社会福祉法人25周年、医療法人40周年という節目を迎え、昭和52年に開院した横山外科胃腸科は、中尾内科消化器呼吸器クリニック・横山外科として名称も新たにリニューアルオープン致しました。地域の皆様からの受診件数も順調に増えており、今後も地域から信頼されるクリニックを目指して運営して参ります。今年も猪年。また平成から新たな時代に移る年でもあります。時代は移り変わっても、あと会利用者ファーストの気持ちで職員一同精進して参ります。今後とも変わらぬご支援・ご協力の程何卒よろしくお願い致します。

新年明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願致します。昨年、西日本豪雨災害や北海道胆振東部地震、台風等日本列島各地を自然災害



なかお内科消化器
呼吸器クリニック
でじま・くにくさ

副院長

中尾 涼子

新年、あけましておめでとうございます。本年も、入所者の皆様健康に生活できますように、お手伝いさせていただきます。引き続き、よろしくお願致します。



なかお内科消化器
呼吸器クリニック

院長

中尾 円

新年明けましておめでとうございます。お正月はゆっくり静養されたこと存じます。昨年、なかお内科消化器呼吸器クリニック開院の際には大変お世話になりました。みなさまの多大なるご協力のおかげで、無事診療が行えるようになりまして、深く感謝申し上げます。



あと・クリニック

院長

徳島 雄二

謹んで新春のお慶びを申し上げます。改元の年にあたり、古に倣つて安穩、平静の御世となることを、祈りたいものです。地域の方々には、健康で、齢を重ねてゆくことを喜びとし、感謝の思いで過ごせることを、「二人三脚」で目指したいものです。



りは・くにくさ

施設長

築家 大介

新年明けましておめでとうございます。今年も元号も変わり日本の新たな歴史が始まります。あと会グループもスタッフ全員が力をあわせて、これまでの歴史を糧にして、新たな歴史を刻んで参ります。どうぞご支援のほどよろしくお願い致します。皆様方の健康とあと会の繁栄をお祈り致します。



ふかわ・くにくさ

施設長

山岡 義文

新年明けましておめでとうございます。今年も猪突猛進や猪武者など勇ましい言葉がたくさんありますが、私には無縁です。職員の皆さんにはお世話になる事が多いと思ひますが、よろしくお願致します。



アリスティード・プロクシュ氏

ドイツベルリンにある「AWWホスピス・ベルリン」のコーディネーター。心理学者。

ボランテアを中心とした在宅型ホスピスを主宰し、現在約60名のボランテアと共に在宅でホスピスサービスを行っている。昨年の十一月十九日～二十三日、研修講師プロクシュ氏と通訳（研修コーディネーター）として吉田恵子さんをドイツからお招きしてホスピスケア、対人サービスに大切な「知覚・傾聴」についてしっかりと学ぶ機会をいただきました。



私自身、ターミナル研修は何度か受講したことがありますが、この度の講義は今まで以上に深く学ぶことができ、考え方や心理面でも自分自身の心に深く刻まれました。

特に印象に残ったのは、

- ① 知覚する② 付き添う③ 耳を傾ける④ 理解する。①～④のステップです。①～④では死に逝く人の気持ちや、求めていること等を知り、それに対して、看取りをする人が必要とする、知識やコミュニケーション方法などを深く学びました。講義、演習、体験などを通して考え方はもちろんですが、心を感じる大切さ学ぶことができました。

今後も、研修で学んだことを生かして、日々のケアに生かしていきたいと思えます。

くにくさ苑 介護主任

大本 誠司

看取りにおける付き添うことの大切さ、尊さ、難しさを学ぶことができた研修でした。死に逝く方を知覚し、付き添い、耳を傾け、理解していく中で常に相手の心を感じることが重要であることを教わり、演習では人間の視覚、思い込みの不思議さやチームの信頼関係を築くレクリエーションなども行われ、とても和やかな研修となりました。

また、研修の中でまずは自分を知ることや自分の気持ちを伝えること、人生を送るうえで大切なことのお話を聴くことができ、自らの人生観にも影響を与えていただけたものでした。プロクシュ氏の穏やかな

口調、吉田様の分かりやすい通訳はとても心地良く、かけがえのない5日間となりました。ありがとうございました。

（りは）くにくさ 介護主任

杉本 信太郎

でじまデイサービス

すてきなランチのひととき

デイサービスセンターで
じまにくさでは、『リハ
ビリをして旅行にいきま
しょう!』がコンセプトの
1つになっています。恒例
の日帰り旅行も今年で7年
目となりました。

今年の秋冬は外出行事が
11月と12月にありました。
11月14日はご利用者様、ご
家族様、職員合わせて30名
で半兵衛庭園の懐石ランチ
に行ってきました。手入れ
の行き届いた庭を散策し色
とりどりの紅葉につつとり
したところで、昼食です。

1階の大広間から庭園を
眺めながら旬の味を堪能し
ました。「つつじの頃もい
いけど、紅葉もいいね!」
「お料理どれも美味しい



よ」などの感想や「昔は家
族でよく来たのよ」と、会
話も弾まれていました。ど
んどん庭の奥に散策に行か
れる姿に、外出行事は自信
に繋がることを実感した
1日でした。

これからも自信を引き出
すお手伝いができればと
思っています。

(デイサービスセンター

でじま・くにくさ

介護主任 伊藤 明子



デイサービスセンターで
じまにくさでは12月14日
に「いきいき日帰り旅行」
という事で銀河ランチ&
クルーズへ行ってきました
今回30名の利用者様、家
族様にご参加いただきました



た。広島港を12時に出港し、
瀬戸内海の紅葉を楽しみな
がら宮島沖までランチを食
べる、約2時間30分の船旅
となりました。

おいしい料理に舌鼓を打
ちながら、宮島沖に到着す
るとみなさんデッキに出ら
れ、鳥居に向かって参拝し
ておられました。「海から
見る宮島もいいですね。」
と話される利用者様もおら
れました。

きれいな景色を目で楽し
み、おいしい料理を舌で楽
しみ、旅行の雰囲気を感じ
楽しんでいただけた日帰り
旅行になったと思います。

(デイサービスセンター

でじま・くにくさ

介護職員 笠原 拓真

いきいき日帰り旅行

タオル美術館 in 今治

11月8日と9日の2回に
分けて、くにくさデイサー
ビス、りは・くにくさデイ
ケア、ダーラナやの・くに
くさの3事業所合同で、い
きいき日帰り旅行に出かけ
てきました。

両日とも今治国際ホテル
とタオル美術館の観光でし
た。

くにくさを出発してトイ
レ休憩をはさみ、約3時間
で今治国際ホテルに到着し
ました。皆様、お疲れの様
子もなく、ホテルの豪華な



昼食に舌鼓を打たれました。
食後は、約30分でタオル
美術館に着き、館内で工場
を見学した後に、お土産を
買われました。

両日とも晴天に恵まれ、
参加されたご利用者の皆様
が事故なく、楽しい時間を
過ごされたことを感謝いた
します。ありがとうございます。

(デイサービスくにくさ

介護主任 久保崎 卓





でじま・くにくさでは、12月26日にもちつき大会を開催いたしました。天気が心配されていましたが、晴れた空の下で無事におもちをつくことができました。

職員、ご利用者一同、「よいしょー！」の掛け声で寒さを吹き飛ばし、皆様楽しんでおもちをつかれていました。もちつきをされると年越しを感じられるようで、「今年も一年経つのが早かった。」とおっしゃられたご利用者もおられました。

つきたてのおもちは、その場であんこやきな粉をまぶし、またぜんざいにも入れて召し上がっていただき大好評でした。年の瀬を感じて頂き、職員もご利用者と楽しい時間を過ごすことができました。来年も良い年であることを願っております。

(はこま・くにくさ)

介護職員 竹本、風藤



お屠蘇

平成31年元旦、今年も新年のご挨拶とともにご利用者の皆様にお屠蘇をお注ぎしました。

お酒のお好きな方は大きな目の杯に、また苦手な方は小さな杯に口をつけられ、新年の行事を楽しまれました。また、くにくさ特製のおせち料理をお出しさせていただきました。えびや黒豆の煮つけなどお正月らしい食事を皆様に楽しんで頂き、新年からたくさん笑顔を見せて頂きました。

くにくさをご利用になっている皆様を始め、ご家族の皆様今年一年の健康と、ご多幸を心より願っております。

(はこま・くにくさ)

支援相談員 荒瀧 友紀子



介護の知恵袋

寒くなり部屋を暖める季節となりました



皮膚が乾燥し肌あれや痒くなったり



空気の乾燥から風邪や他のウィルスの動きが活発になりのどを痛めます



上手に加湿器を使ってお部屋の湿度を保ちましょう



2・3月の行事予定

- 2月 味噌づくり
- 節分
- 3月 ひなまつり

このほかに、毎月コンサート、ショッピング、誕生日会を行っています。

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。昨年の年末には、当会恒例イベントの餅つき会が各施設で行われました。ご利用者、職員、ボランティアが一体となり「ヨイショヨイショ」と威勢のいい掛け声が終始、響き渡っていました。当日は寒い中でしたが、自然と笑顔や笑い声が聞かれ、温かい家族のような雰囲気の中での餅つき会となりました。皆様、片栗粉が服が真っ白になりながらも、一生懸命お餅を丸めておられた姿がとても印象に残りました。

今号はこの他にも、ドイツ人講師の研修やいきいき旅行等、内容濃く、たくさんの記事を掲載させていただきました。2月には当会恒例イベントの味噌づくりを予定しています。平成も4月末をもって新しい元号に変わることになりますが、本年も皆様に楽しいひと時を過ごしていただけるよう、職員一同企画準備していきたいと思っております。皆様にとって素晴らしい一年になりますよう職員一同、心よりお祈り申し上げます。

(くにくさ苑 介護職 武田 正登)

